

# 毛利元就

「三本の矢」



「一本の矢は、かんたんにおれます。では、三本たばねたら、どうでしょうか。安芸の国（今の広島県）の毛利元就は、三人のむすこにこの「三本の矢」をわたして、大切なことをつたえました。」

「一本ではおれる矢も、三本たばねればおれない。三人が力をあわせれば、毛利はまけない」。その後、むすこたちは、父のおしえをまもり、たすけあって毛利の家を大きくしました。」

元就は、ちえで戦う名人でもありました。厳島の戦いでは、あらしの夜にこっそり海をわたって、大ぐんにふいうちをかけ、見ごとにかちました。」

こうして毛利家は、中国地方のほとんどをおさめる大名になりました。ちえと、かぞくの力。それが元就の強さでした。」

## せんたく(1)

元就がむすこにわたしたものはどれですか？  
えらんで○をつけましょう。

- ① 三本の矢
- ② 三本の刀
- ③ 三本のはた

## せんたく(2)

元就がとくいだったことはどれですか？  
えらんで○をつけましょう。

- ① ちえ
- ② ちからずく
- ③ うんのよさ

## きじゅつ(1)

ふいうちをかけたのは、どんな夜でしょうか？

## きじゅつ(2)

三本たばねた矢は、おれますか、おれませんか？

## かん字

かん字に直して書きましょう。

- (1) みなみ
- (2) いわやま
- (3) おや

|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  |  |
|  |  |  |

こたえ

毛利元就もうりもとなり

せんたく

(1) ①

(2) ①

きじゅつ

(1) あらしのよる

(2) おれない

かん字

(1) 南みなみ

(2) 岩山いわやま

(3) 親おや